

平成29年6月14日

大山町議会議長 杉谷 洋 一 様

議席番号 9番 大山町議会議員 野口 昌 作



一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

(質問予定時間 60 分)

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
<p>(一) 竹口新町長の所信表明の政策実行について</p> <p>竹口新町長が誕生し2か月が経とうとしている。立候補にあたり5本柱を掲げ、新しい大山町をつくり上げると訴え、今はその政策実行を全町民が見守り期待している。人口問題で少子高齢化の進む中、若い世代が町外に出てしまい戻ってこない、この状況を解消しなければとの訴えは町長自らが若い世代に当たるが現実をどのように分析するか。また税金の無駄づかいはやめる、教育子育て環境の充実、農林水産商工業を強化、住みやすさ向上、魅力ある雇用の創出、この5項目について現予算を変更或は新設などを具体的にどのように考えているか。</p>	町 長
<p>(二) 特産大山ブロッコリーの生産拡大についての政策を。</p> <p>農地の耕作放棄地が拡大しつつある現在だが、大山の恵みを生かし大山を眺望する美しい田園風景を守り、生活を豊かにしていかなければならない。本町農業を振り返れば水田で水稻を主体に葉煙草・麦、畑は梨などが作られていた。作物も時代によって変わって来るのは常だが、現在ブロッコリーと白ネギが特産として拡大しつつある、ブロッコリー栽培でつらい仕事に早朝収穫がある。ブロッコリー収穫に冷蔵施設が早急に必要である。本町の維持発展、農地保全、農業者の生活向上、大山町の特産品増産に向け支援する考えはないか。</p>	町 長
<p>(三) 道路の側溝、覆いかぶさる枝、表示等の適正な維持管理について</p> <p>道路は社会生活の血管である、適正に管理されていなければならない。道路新設の時代から維持管理に移ってきた、側溝の管理は勿論だが道路を覆う木の枝は芝運搬の大型トラックなどは非常に障害になっている、関係者・集落などと話し、枝を切る必要がある。白ペンキの中央線、止まれや・停止線等も除雪などで消えかけている。事故の無い交通安全の町を目指して適正適切な道路維持管理に取り組む考えはないか。</p>	町 長

